

## ふれあい記録

実施日：2025年9月18日（木）

当番者名 江口正彦、神谷順子

コース名：日和田山と巾着田

（通し番号 第209回）

天 候：晴

参加者：石井 公子、江口 正彦、神谷 順子、熊谷 信雄、新海 昭、田中 宏巳、西村 寿文、  
船橋 エイ子、細矢 清志、宮原 宏至、和田 龍子  
<ビジター>笠井 欣三、斎藤 國男、野口 和夫、八角 真弓  
計 15名 （内、男性10名 女性5名） （五十音別）

交通（時刻）：集合 西武秩父線 武蔵横手駅改札口 8：40

<往路> JR 横浜（新宿湘南ライン快速）6：26 発⇒7：03 着 JR 池袋駅⇒西武池袋線  
（飯能行）7：14 発⇒8：16 着飯能駅⇒西武秩父線飯能駅 8：21 発⇒8：34 着横手駅

<復路> 西武秩父線高麗駅 15：30 発⇒15：38 着飯能駅⇒池袋線飯能 15：44 発⇒池袋

コースタイム（時刻）：歩行距離 9, 4km

横手駅（挨拶と体操）8：55 出⇒9：30 五常の滝 9：55 出⇒10：40 北向地藏⇒11：30  
物見山⇒11：50 駒高（昼食）12：20 出⇒12：50 日和田山⇒13：15 金刀比羅神社→  
14：15 下山⇒14：35 巾着田⇒15：05 高麗駅

みどころ：

- ・五常の滝は落差12m、苔むした岩の間を優雅に流れている。遠い昔「五常」と名乗るお坊さんがこの地を訪れて修行したことから「五常の滝」と名付けられた。
- ・3体のお地藏様が祀られた北向地藏。
- ・物見山は標高375m埼玉百名山で、本日の最高峰です。
- ・急な岩坂を登ると日和田山、山頂には大きな宝篋印塔が建っていた。
- ・金刀比羅神社からは高麗川に囲まれた巾着田全貌が見える。
- ・期待した巾着田の曼殊沙華は猛暑が続き、雨もほとんどなかった為、開花には早すぎた、高麗川沿いの河原で休憩。

自然観察：連日猛暑で秋の気配を感じなかったが、登山道は杉の樹林帯、路肩には小さな秋の草花が沢山咲いていた。

ミズヒキ・キンミズヒキ・ヤブミョウガ・コロマンソウ・ヤマジノホトトギス・シュウカイドウ・コムラサキ・タイワンクズ・ハグロソウ・アレチノヌスビトハギ・ダイコンソウ・ノブドウ、キバナコスモス他

曼殊沙華は人家の庭などでわずかに咲いているのを見かけました。

特記事項：例年にない猛暑の夏が過ぎ9月も半ばになりましたが相変わらずの猛暑続き、暑さ対策を心配しての実施になりました。

登山道は杉林の樹林帯で直射日光に当たらないことは幸いでしたが、湿気が強く蒸し暑い一日でした。

こまめに休憩を取りながら歩きました。